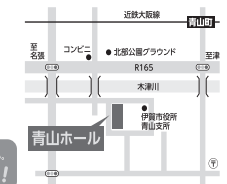


アポロ新聞

2017 リフォーム&豪華賞品 ガス展
当てちゃおー!!
その夢・未来 ガスでつなげます

※2ヶ月間掲載させていただきますが、応募は1家族1枚とさせていただきます。

青山会場 in 青山ホール
10/7土・8日
10:00~17:00
(8日は13:00~17:00)
ご来場プレゼント!
BOXティッシュ5箱組 進呈!



伊賀会場 in JAIがほくぶ 西柘植ふれあい店
10/14土・15日
10:00~17:00
(15日は16:00まで)
ご来場プレゼント!
BOXティッシュ5箱組 進呈!



本社会場 in ショールームフラム イオン伊賀上野店駐車場
11/3金・4土・5日
10:00~17:00
ご来場抽選
PlayStation 4
●伊賀内商品券 ●温泉入浴券●お食事券
などなど はずれクジなし!



名張会場 in 名張産業振興センター アスピア
11/11土・12日
10:00~17:00
(12日は16:00まで)
ご来場プレゼント!
BOXティッシュ5箱組 進呈!



2017 リフォーム&豪華賞品 ガス展
その夢・未来 ガスでつなげます

応募箱は各会場受付 またはアポロブースにあります。

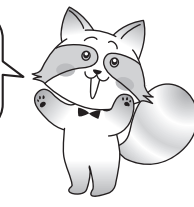
応募賞品: 梔ショット極 金谷伊賀牛すき焼用 魔法の壺プリン

氏名 _____ 年齢 _____

住所 _____

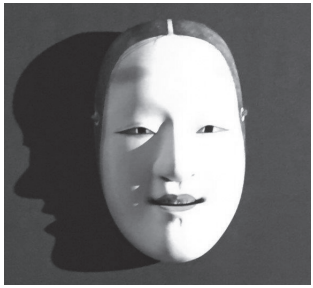
TEL _____

ご希望の賞品に○をつけてね!



新能鑑賞

総務課 福島 秀明



9月9日に、伊賀市ふるさと会館で行われました、「第三回 竹灯り幽玄能」を見に行ってきました。能などの古典芸能に特に興味があった訳ではありませんが、入場無料ということもありましたので、能とはどんなものだろうと、好奇心もあり見に行きました。

ふるさと会館の外庭で行われる新能でした。新能というのは、幻想的な中で開かれるものというイメージでしたが、ふるさと会館の裏にはJR関西本線が通っており、時折、遮断機の警告音や列車が通過する音がします。前には旧国道25号線もありますので、乗用車やトラックの走る音が聞こえ、車のライトが会場を時折横切ります。残念ながら、幻想的というものには、ほど遠い会場ではありましたが、舞台の上は新の炎と照明に照らされ、そこだけは別世界のような感じでした。

夕方六時からの開演でしたので、始まった時は未だ明るかったです。最初は仕舞から始まりました。演目は、安宅、敦盛、東北、飛鳥川、通小町、葵上と続き

明るかった空が段々と暗くなり、薪に火が点けられ、炎が舞台を照らします。次に姉弟の狂言 飛越がありました。姉弟で息が合い、子供とは思えない演技で、狂言らしくおもしろい仕草や言い回しで、会場から笑い声も聞こえました。これらを演じたのは、能楽教室の生徒とのことです。小学生から一般の方を対象にした能楽教室が開かれているそうで、その生徒が出演し、素人ではありますが、堂々とした演技でした。

次が本職の出番です。演目は、「巻絹」で、シテは、喜多流能楽師 長田驍氏です。笛の音が聞こえ出すと演目が始まりました。巻絹とは、次のようなあらすじです。

熊野権現に千足の絹を奉納せよと帝の命令で、諸国から絹が熊野に運ばれる事となりました。都から絹を運ぶ使者(ツレ)は途中で音無の天神に寄り道して、梅を見て歌を手向けていたため期限に遅れてしまいました。臣下(ワキ)はそれを咎め、懲罰として従者(間狂言)に命じて使者に縄を掛けました。そこへ女(シテ)が現れ、「その者は昨日音無の天神で

和歌を捧げた者だから許してほしい」といいます。不審がる臣下に、使者はその歌の上の句「音無にかつ咲そむる梅の花」を詠み、女がそれに下の句「句はざりせば誰か知るべき」と続けました。女は音無の神の憑いた巫女で、都の使者が心の中だけで唱えた和歌を、天神が巫女の口を通じて告げたのです。神の言葉と威力により使者は遅れたことを許されました。巫女に憑いた神は和歌の徳を褒め称えながら、神楽を舞い、熊野に鎮座する神の本地にある仏の名を唱えて舞い遊ぶ。それは、御幣を振り、数珠をもむという神仏混合の舞いでありました。やがて巫女は「さらばこれまで、神は上がらせて給う」と御幣を捨てて正気の巫女に戻りました。

能面を被っているのは、シテ役のみです。言葉使いや言い回しは、昔の言葉で分かり難く、動きもゆっくりです。それでも、小鼓、大鼓、太鼓の囃子の音楽や、地謡の謡いで舞台が盛り上がってくるのが分かります。

薪の煙や火の粉が、舞台の障害になるし、危険だということで、炎が段々と小さくなっていく。途中で雨にも降られました。折角の新能が残念なことでした。

能は、あまり身近ではなく、難しい物だという思い込みもありました。今回の舞台を見て、ちゃんと理解できたかといわれると自信はありませんが、能の、神秘性、優美さを少しは感じられたし、楽しむことができました。次の機会があれば、また行こうと思っています。



参考
公益法人 能楽協会
(http://www.nongaku.or.jp/)
thebig.com
(http://www.the-noh.com/jp/index.html)

(注)
シテ 主役
ワキ 脇役
ツレ シテに従って登場する役
間狂言 能の中に登場する狂言
地謡 コーラスグループで、シテと共に謡ったり、心の中を謡ったりします
仕舞 シテの所作の見所を抜き出して紋付・袴姿で舞う上演形式